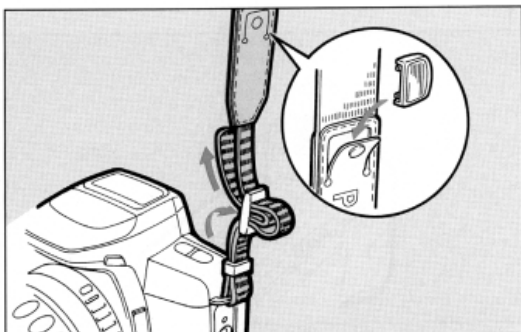


(1) ストラップを取り付けます



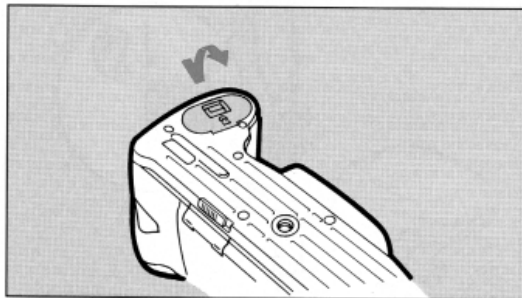
図のように、ストラップを取り付けてください。

- * ストラップの先端は、留め具の内側になるように通すとしっかり取り付けられます。
- * ストラップのポケットは、ファインダーキャップ、リリースソケットキャップ、ホットシューカバーなどの小物入れとしてご利用ください。

13

(2) 電池を入れます

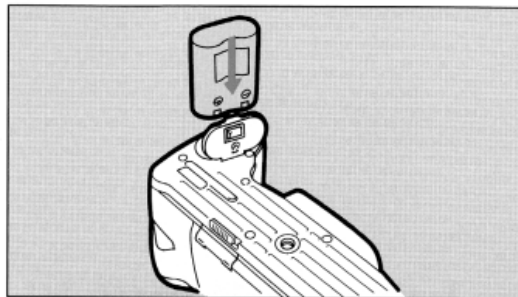
1



1. 図のように、電池ふたの開放レバーを矢印の方向へ引いて、電池ふたを開きます。

- * このカメラは電池で動きますから、操作をする前には、必ず決められたリチウム電池 [2CR5] 同等品を1個入れます。サンプルの電池が添付されていますので、この電池をお使いください。

2



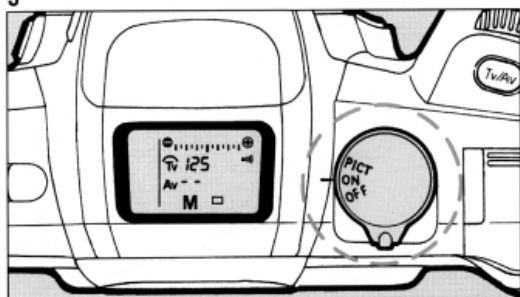
2. 電池の金属側を先に、電池ふた裏側の＋表示に合わせて電池を入れ電池ふたを閉じてください。

- * 電池を入れ直すと、フィルム枚数の値およびフィルム感度以外の内容は変わってしまいますのでご注意ください。
- * 低温では、一時的に電池の性能が低下することがありますが、常温に戻れば使用できます。
- * 海外旅行・寒冷地での撮影や写真を撮るときは、予備電池をご用意ください。

14

I カメラの準備と
基本操作

3



3. 電源スイッチを **PICT** または **ON** にし、図のような表示が表示パネルに出ることを確認してください。

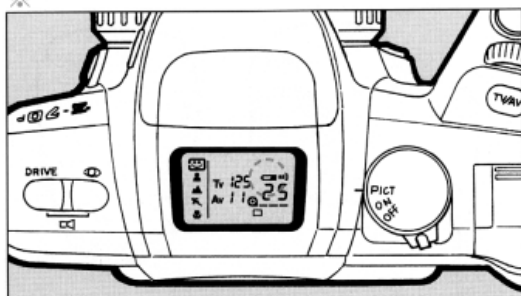
* レンズが取り付けられているときは、別の表示が出る場合があります。

撮影可能フィルム本数およびバルブ時間

一般撮影	約 100 本
ストロボ撮影 [使用率 50%]	約 25 本
ストロボ撮影 [使用率 100%]	約 15 本
バルブ露出時間	約 12 時間

新品のリチウム電池 **2CR5** で、当社試験条件による。
[24 枚撮りフィルム、常温]

※



※電池が消耗した場合

電池が消耗すると、図のように表示パネルに電池警告  が点灯します。お早めに電池を交換してください。電池の交換は 14 ページをご覧ください。

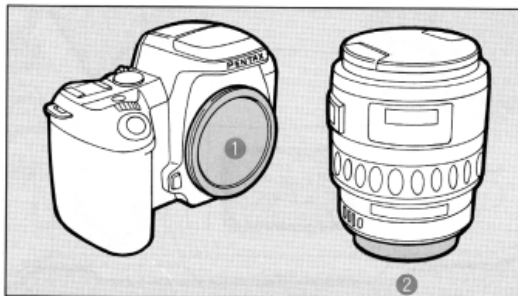
* 表示パネルの電池警告  が点滅になると、ファインダー内表示は消え、シャッターも切れなくなります。

* 撮影可能フィルム本数は、使用条件によって変わりますのでご注意ください。

⑮

(3) レンズを取り付けます

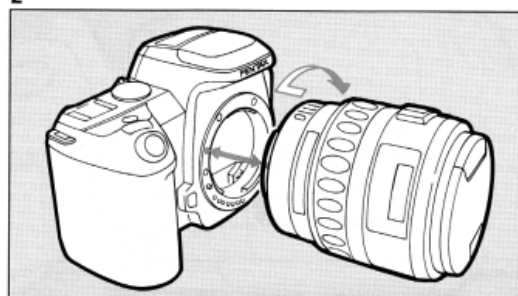
1



1. 図の①と②のカバーを外します。

* ①のカバーは工場出荷時のキズやホコリ防止用のものです。保管用には、別売りアクセサリとして「ボディーマウントキャップK」が用意されています。

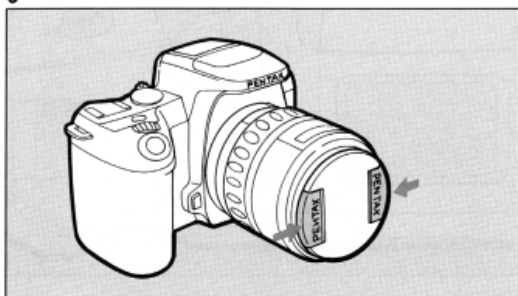
2



2. カメラとレンズのマウント [赤点] 指標を合わせて、レンズをカメラにはめ込み、レンズを右に回すと「カチッ」と音がしてロックされます。

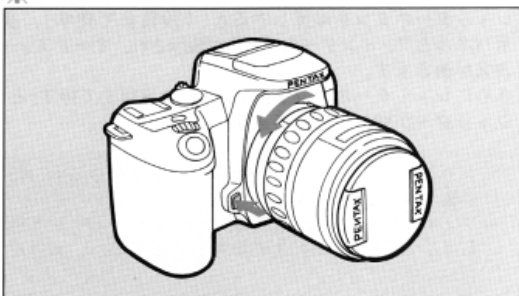
* FAズームレンズの着脱は、不用意なズーム作動を防ぐため、電源スイッチを **OFF** にした状態で行なってください。

⑮



3. レンズキャップは、図のように矢印部分を内側に押すと外れます。

- * 他社製レンズを本製品に使用されたことによる事故、故障などにつきましては保証いたしかねます。
- * カメラやレンズのマウント面には、レンズ情報接点やAFカブラーがあります。この部分にゴミや汚れが付いたり、腐食が生じると、電気系のトラブルの原因になる場合があります。汚れたときは、乾いた柔らかい布できれいに拭いてください。



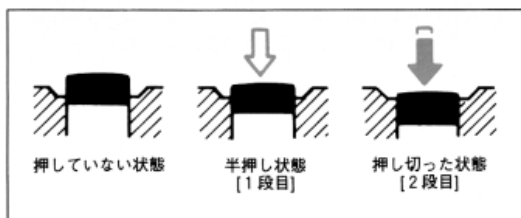
※レンズを外すには
レンズを外すときは、レンズロックボタンを押したまま、レンズを左へ回すと外せます。

- * 外したレンズは、接点やカブラーをキズ付けないためカメラに取り付け面を上にして置いてください。

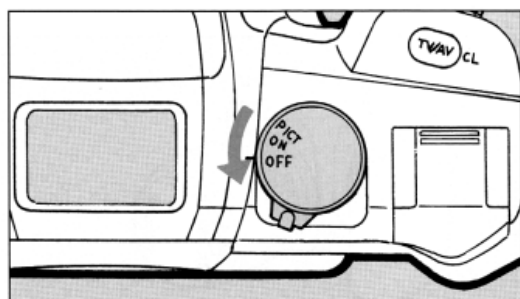
(4) シャッターボタンの操作

シャッターボタンは2段階になっています。シャッターボタンを半押しすると[1段階まで押す]、表示パネルとファインダー内の表示が表示され、オートフォーカスが働きます。さらにシャッターボタンを押し切る[2段階まで押す]と、シャッターが切れ撮影できます。

- * シャッターボタンは、カメラぶれを防ぐためにも、指の腹でゆっくり押してください。
- * フィルムを入れる前に、実際にシャッターボタンを押してみて、どこまで押すと半押しになるのか、感覚をつかんでください。
- * 表示パネルとファインダー表示は、シャッターボタンを半押し後、指を離しても約10秒間表示されたままになります。なお、シャッターボタンの半押しを続けると、表示は継続します。



(5) 電源スイッチの操作

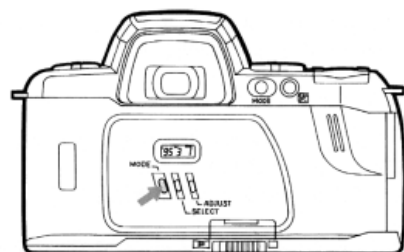


電源スイッチは3段階になっています。

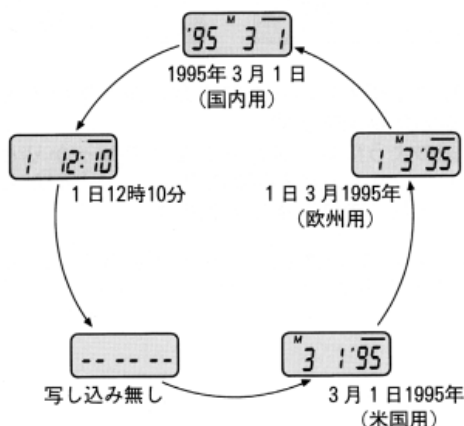
- PICT** = ピクチャーポジション
5つのピクチャーモードが使用可能です。
[絞りA位置の場合のみ可能]
- ON** = フルスベックポジション
ピクチャーモードを除く全ての露出モードが使用可能です。
- OFF** = 電源OFF
使わないときは、必ずこの位置にしてください。シャッターボタンが押されると電池が消耗します。

(6) 写真に日付や時刻を写し込みます (データバックを使います)

図のように、矢印の **MODE** ボタンを押して、写し込みたい内容を選びます。
表示は図のように **MODE** ボタンを押すごとに変わり、表示されている日付または時刻が写真に写し込まれます。



- * **M** は「月」の位置を表わしています。
- * **---** はシャッターを切ると点滅をして、日付けや時刻が写し込まれたことを知らせます。



- * 日付や時刻は、撮影のたびに写し込まれます。
- * **---** にすると写し込みはされません。
- * 日付の表示方法は、3種類あります。
- * 日付や時刻の写る部分[画面右下]に白や黄色のものとあると、写し込まれた表示が見えにくくなりますので注意してください。
- * 日付や時刻の修正は、77 ページをご覧ください。
- * パノラマ撮影モードでは、日付や時刻は写し込まれません。
- * 日付や時刻の写り込みが薄くなったり、データバックの表示窓の表示が薄くなったり、消えた場合には電池を交換してください。なお、電池の交換は 76 ページをご覧ください。
- * 使用上の注意が78ページにありますので、そちらもご覧ください。

19

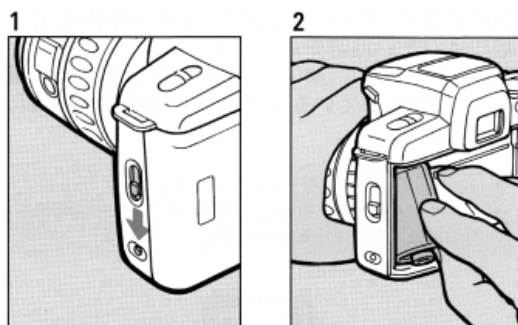
(7) フィルムを入れます

カメラの操作に慣れるまでは、カメラにフィルムを入れないで練習されることをお勧めします。

フィルム感度自動セット

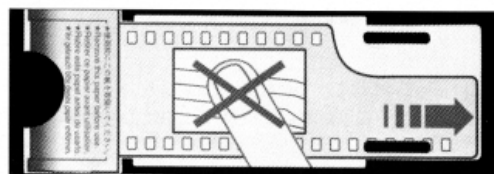
このカメラでは、フィルムを入れるだけでフィルム感度が自動的にセットされます。
[ISO25~5000 までのフィルムが使えます。]

- * ほとんどのフィルムが、フィルム感度を自動的にセットできるDXフィルムですが、DX以外のフィルムではフィルム感度が100にセットされます。
- * カメラを購入後、初めてフィルムを入れるときには、裏ぶたを開けて写真のような防傷カバーをシャッター幕に触れないよう注意しながら、取り外してください。

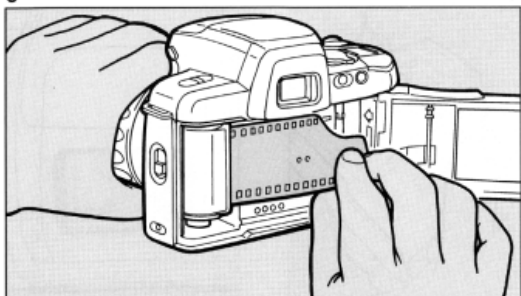


1. 裏ぶた開放レバーを矢印の方向へ下げると、裏ぶたが開きます。
2. 図のようにレンズ部分を左手でしっかりと持ち、フィルムの凸部側を下にして上側から先に入れ、次に下側を入れます。

- * フィルムを入れるときは、直射日光が当たらないところで行ってください。



3



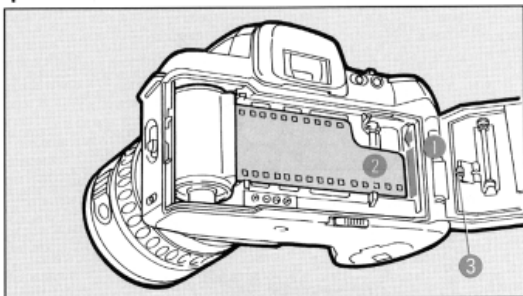
3. 左手でレンズを持ったまま、指やフィルム先端がシャッター幕に触れないように気を付けて、右手でフィルムを引き出します。

* フィルムを引き出し過ぎた場合は、フィルムをパトローネに戻してたるみを取ります。

* フィルム室内のDX情報ピンは、フィルム感度などを読み取る接点です。キズやゴミ、汚れを付けないように、注意してください。ゴミや汚れがあるときは、乾いた柔らかい布できれいに拭いてください。

* フィルムの先端が極端に折れ曲がっているものは、まっすぐに直してください。

4



4. 図のように、フィルム先端部を赤色のフィルム先端マーク①に合わせます。

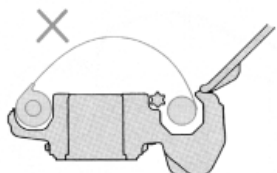
* フィルムの穴[パーフォレーション]を②の歯[スプロケット]に合わせ、フィルムがまっすぐに入っていることを確認してください。

* シャッター幕は非常に薄い幕でできており、精度の高いものです。手やフィルム先端などが当たりますと破損させる恐れがありますので、絶対に触れないように注意してください。

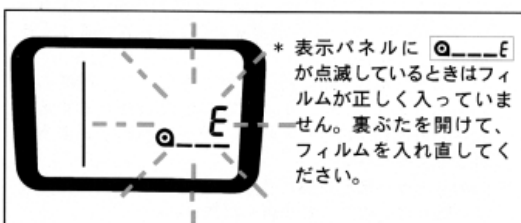
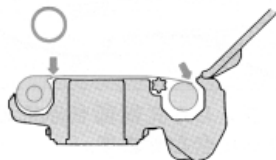
* ③のローラー部分を曲げると、フィルムに傷が付きます。触らないようにご注意ください。

21

フィルムのたるみあり

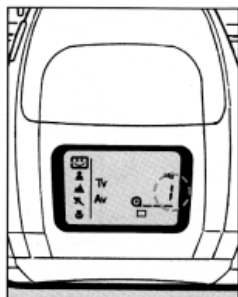
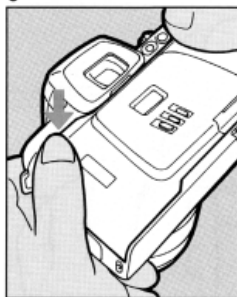


フィルムのたるみなし



* 表示パネルに  が点滅しているときはフィルムが正しく入っていません。裏ふたを開けて、フィルムを入れ直してください。

5



5. 裏ふたを閉め電源スイッチを **ON** か **PICT** にすると、フィルムが自動的に1枚目まで巻き上げられます。

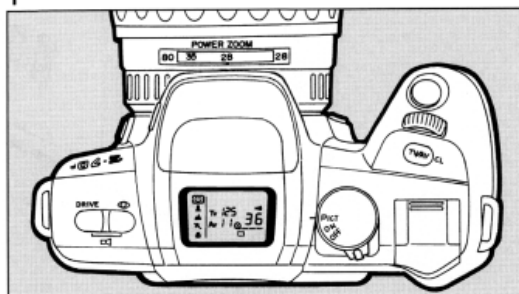
* 表示パネルにフィルム枚数表示の  と  が出ていることを確認します。

* 表示パネルのフィルム枚数表示は、撮影するごとに1つつ進みます。

22

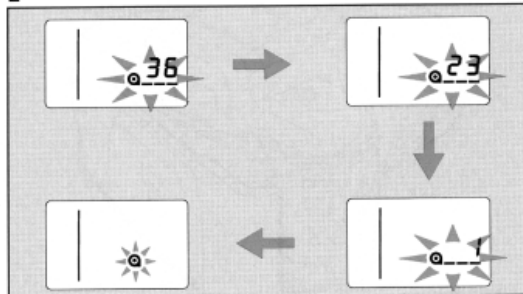
(8) フィルムの巻き戻しについて

1



1. フィルムの最後まで撮影すると、自動的に巻き戻しが始まります。

2

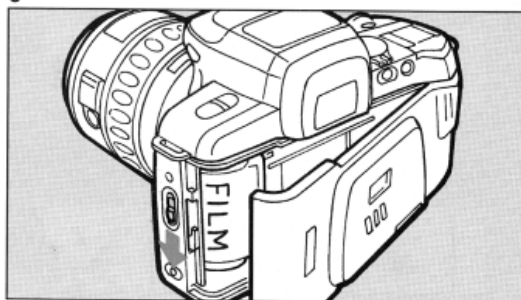


2. 巻き戻しが終了すると、表示パネルの  が点滅し、撮影枚数の表示が消えます。

- * 巻き戻し中は、表示パネルの  の  部分が点滅して巻き戻し中であることを知らせます。
- * 巻き戻し中は、表示パネルの撮影枚数が逆算表示されます。
- * 巻き戻し中は裏ぶたを開けないでください。
- * フィルムは直射日光が当たらないところで取り出してください。
- * 規定枚数になっても、まだ撮影が続けられるときは、フィルムが最後まで進んでから巻き戻しが行なわれます。

23

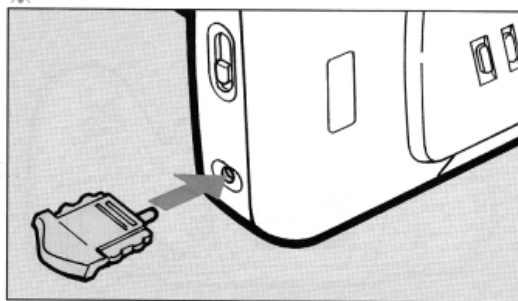
3



3. 裏ぶたを開け、フィルムを取り出します。

- * 巻き戻しは24枚撮りフィルムで約15秒です。
- * カメラを使わないときは、電源スイッチを必ずOFFにしておいてください。
- * 表示パネルの  の点滅を確認してから、裏ぶたを開けてください。
- * フィルムの規定枚数以上の撮影をすると、最後のコマは現像所でカットされる場合があります。大事な写真の場合は、規定枚数を撮り終わった時点で途中巻き戻しを行ない、フィルムを取り出してください。

※



※フィルムの途中巻き戻し

フィルムの規定枚数まで撮り終わらないうちに途中で取り出したいときに使います。

電源スイッチを **ON** か **PICT** にし、 のフィルム途中巻き戻しボタンをホットシューカバーF₇の突起で押してください。

- * 表示パネルの  の点滅を確認してから、裏ぶたを開けてください。

24